

## 今週の株式相場見通し

\* 日経平均 21,100~22,200円 TOPIX 1,710~1,760  
 \* 期待材料 IoT社会の実現 IoT、AI活用による生産性改善 インバウンド需要の拡大  
 \* 不安材料 地政学的リスク 中国経済の成長鈍化 長期金利上昇 貿易摩擦激化

米中貿易摩擦への警戒感やシリア情勢の悪化、加計学園問題の再燃などの悪材料から日経平均株価は上値が重くリスクが取りにくい状況にある。今月後半から3月期企業の決算発表が始まるが、円高や投資費用の拡大、原材料費・人件費の上昇などにより、18年度の増益率は大きく鈍化することが見込まれ、銘柄を厳選した個別物色に注力したい。10日に決算を発表したシグマ光機は3Q累計決算が前年同期比15.0%増収、70.6%営業増益になり、大幅増益を達成。年度末に向けて大学・国立研究開発法人で研究開発予算の執行が活発化したことや、スマートフォンの高機能化、大容量化や車載向けに需要が伸びる半導体・電子部品業界、有機EL、液晶パネルの大型化、高精細化が進むFPD業界などで研究開発や設備投資が活発化し、レーザ加工機・検査装置への組み込み用レンズユニットなどの需要が好調。加えて、生産効率化、グローバルサプライチェーン強化など生産コストの削減、経費削減も進み、3Qの営業利益率は18.5%と前年同期の10.8%から大きく改善。18年度も企業の研究開発や設備投資は活発に推移するものと思われ、一段の業績拡大が期待される。訪日外国人向けに国内ツアーを企画、提供しているHANATOUR JAPANも、地方のインバウンド需要拡大に伴い業績拡大余地は大きいと思われ注目したい。今週は、日米首脳会談の開催が予定されており、米国が日本に貿易不均衡の是正を求める可能性がある。その場合、ドル/円が2番底を試しに行く展開も想定されるが、シカゴ・オプション取引所の建玉報告では、円売りポジションは解消されていることから、円高が一段と進む展開は見込み薄と考える。(4月12日現在、松本 直志)

## 今週の予定

	国内	海外
4/16 (月)	日中ハイレベル経済対話 3月のマンション市場動向	[米]3月小売売上高(21:30) [欧]欧州議会本会議(~19日)
17(火)	2月鉱工業生産 確報値(13:30) イワタニ水素エネルギーフォーラム「水素の広がる用途とその最前線」 全国学力・学習状況調査	[中]3月鉱工業生産(11:00) [中]3月小売売上高(11:00) [独]4月ZEW調査(18:00) [米]3月鉱工業生産(22:15) [米]安倍首相訪米(~20日) 日米首脳会談(17、18日)
18(水)	3月貿易収支(8:50) モータ技術展(~20日) Medtec Japan(~20日) 国際ドローン展(~20日) 自民党岸田派パーティー	[欧]3月の新車販売 [欧]3月消費者物価指数(18:00) [加]銀行、政策金利(23:00) [米]ページブック(27:00) [中]Global Sources Mobile Electronics(~21日)
19(木)	日ロ戦略対話	[キューバ]ラウル・カストロ国家評議会議長 退任
20(金)	3月全国CPI(8:30) 小野寺防衛相 訪米	[米]IMF 世界銀行春季総会(~22日) [米]G20財務相・中央銀行総裁会合
21(土)	安倍首相主催「桜を見る会」	[米]第37回国際通貨金融委員会(IMFC)
22(日)	沖縄県沖縄市長選投票開票	[加]G7外務・安全保障担当相会合(~24日)

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 今週の参考銘柄

### 日本電産 (6594) 東証1部



	16年3月期 (百万円) 前年比	17年3月期 (百万円) 前年比	18年3月期(予) (百万円) 前年比	株価(4/12)	16,400 円
売上高	1,178,290	1,199,311 1.8%	1,450,000 20.9%	業種	電機機器
営業利益	117,662	139,366 18.4%	170,000 22.0%	売買単位	100 株
税前純利益	117,164	141,313 20.6%	163,000 15.3%	PER(予想)	37.9 倍
当期純利益	89,945	111,007 23.4%	128,000 15.3%	PBR(実績)	5.1 倍
EPS(円)	303.0	374.3	432.3	ROE(実績)	13.9 %
配当金(円)	80.0	85.0	95.0	配当利回り(予想)	0.6 %
				担当	多功 毅

16年3月期からIFRS決算数値を開示しており、16年3月期の前年比較は無し

出所：業績に関する数値は連結決算補足資料より

引き続き業績は好調に推移している。18年3月期3Q累計決算は、前年同期比237,693百万円増収(同27.4%増)、同20,954百万円営業増益(同19.7%増)での着地であった。20,954百万円営業増益の内訳としては、車載及び家電・商業・産業用事業が16,577百万円増益、精密小型モータが4,568百万円増益、機器装置が3,984百万円の増益、電子・光学部品が291百万円増益、その他が11百万円減益、消去または全社費用が4,455百万円の増加(減益要因)となっており、主要セグメントは揃って好調に推移している。

4Qの為替前提を引き続き期初に設定した1ドル105円、1ユーロ110円の前を据え置いていることや車載用部品の売上拡大や着実な収益性の改善基調を踏まえると保守的な計画と思われ、4月24日発表予定の通期業績の超過達成が期待される。

中期的な観点では、特に車載用部品の成長性に期待している。強みを持つ電動パワステ用モータのシェア拡大に加えて、電動ブレーキ用モータやトラクション用モータ等が、世界的に加速する電動自動車への移行に伴い高い成長を遂げることが期待される。他にも環境規制の強化を背景に、省エネ家電では当社が強みを持つブラシレスモータの本格的な採用拡大が想定される。さらに、モータや減速機、センサー等を多用するロボット、ドローン市場の拡大も、当社に大きな恩恵をもたらすことが期待される。

4月25日から開催される北京モーターショー2018において、EV及びPHEV向けのモータ・インバータを組み合わせたトラクションモータシステムの公開を予定しており、注目している。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(4/12) 売買単位	コメント
<b>RS Technologies</b> (3445) 東証1部 6,660円 100株	前期決算は、半導体業界の活況に伴い再生ウエハ需要が旺盛に推移。新品ウエハの値上がりに連れて、再生ウエハの価格も上昇し、計画を上回る前年同期比24.2%増収、97.5%営業増益で着地。今期は、主に中国における200mmウエハ製造子会社の連結効果を織り込み91.1%増収、26.5%営業増益を計画。既存の商社事業については確定している一部案件のみ予算化しているとのことで、再生ウエハについても横ばい前年比程度の予算となっている模様。(多功 毅)
<b>マークライズ</b> (3901) 東証2部 1,695円 100株	17年度決算は前年同期比17.3%増収、17.1%営業増益。電動化や自動運転、コネクテッド、シェアリングなどの最新技術に対するコンテンツ強化を実施し、情報プラットフォーム事業は前年同期比13.3%増収。契約社数は前年同期比15.3%増の2,592社に拡大。人材紹介や市場予測情報、広告などその他事業も前年同期比42.3%増収になった。18年度は前年同期比19.0%増収、22.9%営業増益計画。情報プラットフォーム事業の成長に加え、車両・部品調達代行、分解調査などクロスセルの取り組みを強化し業績拡大を目指す。(松本 直志)
<b>クリーク&amp;リバー社</b> (4763) 東証1部 1,180円 100株	17年度決算は前年同期比0.5%増収、12.2%営業増益。韓国事業が持分法適用関連会社になった影響を除くと10%増収。業績好調に伴い人員増強を早期化し、1.7億円の追加費用があったものの、会社計画並みの利益を確保。TVに加えてネット動画、ゲーム、VRなどコンテンツが多様化しており、制作人材に対する需要が増え8期連続増収。18年度は前年同期比10.5%増収、8.0%営業増益。本社移転費用や家賃増加があるものの、TVやゲーム制作などのクリエイティブ人材に対する派遣、紹介需要が引き続き拡大し、増収増益計画。(松本 直志)
<b>ハイデイ日高</b> (7611) 東証1部 2,907円 100株	前期決算は、人件費や水道光熱費上昇の影響を受けたものの、期間限定メニューの投入効果もあり引き続き既存店売上高が好調に推移したことに加えて、昨年9月からのアルコール類の値上げ効果も寄与することで前年同期比5.5%増収、2.5%営業増益で着地。今期についても、新規出店効果や4月下旬のメニュー改定効果等を織り込むことで5.8%増収、4.7%営業増益と16期連続最高益更新を計画。(多功 毅)
<b>マニー</b> (7730) 東証1部 4,260円 100株	2Q決算は、旺盛な需要に対して増産対応を優先させたことによる原価改善活動の遅れや、新工場稼働に伴う償却負担の増加等があったが、売上増効果や円安効果でカバーし、計画を上回る前年同期比17.8%増収、10.1%営業増益での着地。特に好調に推移しているのがアイレス針で、新工場稼働による能力増強によって海外での拡販が進んでいる。通期については、為替動向が不透明であるとして期初計画の9.5%増収、16.2%営業増益計画を据え置いている。(多功 毅)
<b>丹青社</b> (9743) 東証1部 1,252円 100株	18年1月期決算は前年同期比6.2%増収、16.7%営業増益、受注は10.4%増加。市場環境が好調で受注が伸び、外注費も抑えたことで売上高総利益率が改善し過去最高の営業利益を更新。大型の企業PR施設やホテル、テーマパーク、オフィスの新規改装案件、アパレル、飲食店、専門店、博物館、科学館など幅広く需要が拡大。今期は前年同期比5.1%増収、2.4%営業増益計画。オリンピックや都心の再開発関連、インバウンドなどの需要拡大が続く見込み。(松本 直志)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

### ■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



### ○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号

加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大 1.1772%(ただし約定代金 230,000円以下の場合は最大 2,700円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

### ○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室